大俣小だより　10月号

「気づき・考え・行動し、話し・伝える」児童の育成

「実りの秋」となりますように!!



猛暑の夏が続いていましたが、少しずつ朝夕が涼しくなり、秋の気配を感じられる季節となりました。「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」「勉強の秋」「食欲の秋」などと言われるように、いろいろなことに打ち込むことができる絶好の季節です。また、様々な野菜や果物、米などが収穫されることから「実りの秋」とも言われます。

子どもたちがこれまでに蓄えてきた力を源にして、いろいろなことに挑戦し、力を発揮しながら成長できる「実りの秋」となることを大いに期待しています。

１０月６・７日(火・水）は、5年生の宿泊学習が無事終わりました。海の自然環境の中で、集団生活や協力することの大切さなどを学習する良い機会となりました。保護者の皆様には、準備や送迎などお世話になりました。１０月以降も、子どもたちが楽しみにしている行事等がたくさんあります。１１月には、修学旅行（6年生）やバス遠足（1～5年生）も予定しています。どれも貴重な体験となるので、全員が参加できるよう、「早寝・早起き・朝ごはん」など、体調管理をよろしくお願いいたします。

教育実習生と職場体験中学生の皆さん



大俣小の先輩(教育実習生・職場体験中学生)にインタビュー！！

♥大俣小学校での一番の思い出(印象に残っていること)は？

実習生「遠足でレオマワールドに行って、友達と一緒に遊んだこと。」
実習生「友達と毎日楽しく遊んだ休み時間が一番の思い出です。」
中学生「6年生の時にした150周年記念祭りです。」
中学生「放課後や夏休み中に、みんなで陸上や水泳を頑張ったことです。」

♥後輩に向けてのメッセージ

実習生「一瞬一瞬を大切にして、毎日を楽しんでください。」
実習生「勉強も遊びも全力で取り組んで、たくさん思い出を作ってください。」
中学生「小学校生活を思う存分楽しんでください。」
中学生「決まりを守って6年間を楽しんでください。」

４人とも「大俣小学校が今でも大好き」と言ってくれています。インタビューありがとうございました。